

科目ナンバリング		G-HUM35 50000 LJ38									
授業科目名 <英訳>		東アジア人文情報学 2 B Advanced Topics in East Asian Information 2B				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 Wittern, Christian			
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	月3	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
分野名		東アジア文化論									
【授業の概要・目的】											
<p>本科目では、「電子テキストなどから研究目的に併せて各種のモデリング、分析等でどんなように新たな発見に結び付けるか」というテーマを通じて、人文情報学の学術分野としての問題設定、位置づけ、主な課題と基本的な方法論を学ぶ。</p>											
【到達目標】											
<p>デジタル・テキスト編集の課題、問題、方法等を理解して、自主的に適応出来る様になります。後期の授業では基本的なテキストの運用、分析など簡単なプログラミングも学びます。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>前置き 電子テキストをもって活用と加工する基本方法 X S L T (XML文書を変換するための簡易言語) \</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ X S L T とは何か？ ・ X S L T の処理モデルと概念 ・ X S L T の活用 (自習) <p>Xquery (XML文書を検索するための言語)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Xquery とは何か？ ・ Xquery の処理モデルと概念 ・ Xquery の活用 (自習) <p>まとめと今後の発展</p>											
【履修要件】											
東アジア人文情報学 2 A の合格											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
レポートと練習課題及び出席状況により評価するが、授業の積極的な参加姿勢も考慮に入れる。											
【教科書】											
適宜、資料を配付、授業HPに掲載する。											
【参考書等】											
<p>(参考書)</p> <p>『Michael Kay: XSLT 2.0 and XPath 2.0 Programmer's Reference, 2008 (O'Reilly)』</p> <p>『Erik T. Ray: 入門XML(第2版), Sebastopol et.al, 2004 (O'Reilly)』</p>											
----- 東アジア人文情報学 2 B(2)へ続く -----											

東アジア人文情報学 2 B(2)

『Priscilla Walmsley: Xquery, 2007 (O'Reilly)』

[授業外学習（予習・復習）等]

毎回リーディングと課題が有ります、それは授業進行の前提と成りますので、評価には大きな部分を示しています。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。